

# 生物学

## 1 構 成 員

	平成 13 年 3 月 31 日現在
教授	2 人
助教授	0 人
助手（うち病院籍）	0 人（人）
大学院学生（うち他講座から）	0 人（人）
研究生	0 人
外国人客員研究員	0 人
技官	3 人
その他（技術補佐員等）	0 人
合計	5 人

## 2 構成員の異動状況

右藤 文彦（教授）（期間中現職）

村上 彰（教授）（期間中現職）

## 3 研究業績

	平成 12 年度
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	1 編（0 編）
そのインパクトファクターの合計	0
(2) 論文形式のプロシーディングズ数	4 編
(3) 総説数（うち邦文のもの）	0 編（編）
そのインパクトファクターの合計	0
(4) 著書数（うち邦文のもの）	0 編（編）
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0 編（編）
(6) 国際学会発表数	0 編

### (1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Murakami A., Ikegaya K., Machemer H., Machemer-Röhnisch S., Bräucker R., Takahashi K.(2000)Transient Graviresponses in *Paramecium* : Swimming Track Analysis by Free-Fall Experiment. Space Forum 6:375-380.

インパクトファクターの小計

[ 0 ]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の

共同研究)

- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの
- D. 筆頭著者、共著者とも浜松医科大学に所属していなかったが、当該教室に所属する者が含まれるもの

## (2) 論文形式のプロシーディングズ

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
  - 1. 向野弘子，池谷和子，村上彰（2000）パラメシウムの培養液と重力走性の関係．宇宙生物科学：14(3) 248
  - 2. 向野弘子，村上彰（2001）経口栄養剤（LRD）によるパラメシウムの培養と重力走性への影響．Space Utilization Research, 17 158-161
  - 3. 村上彰，向野弘子，吉村健二郎，高橋景一（2001）2 段式落下装置の改良について．Space Utilization Research: 17 154-157
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの
  - 1. 吉村建二郎，松尾由堂，高橋景一，村上彰（2001）クラミドモナスの重力走性異常突然変異体の単離と解析．宇宙利用シンポジウム 17：186-189.
- D. 筆頭著者、共著者とも浜松医科大学に所属していなかったが、当該教室に所属する者が含まれるもの

## (3) 総 説

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの
- D. 筆頭著者、共著者とも浜松医科大学に所属していなかったが、当該教室に所属する者が含まれるもの

#### (4) 著 書

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの
- D. 筆頭著者、共著者とも浜松医科大学に所属していなかったが、当該教室に所属する者が含まれるもの

#### (5) 症例報告

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの
- D. 筆頭著者、共著者とも浜松医科大学に所属していなかったが、当該教室に所属する者が含まれるもの

#### (6) 国際学会発表

### 4 特許等の出願状況

	平成 12 年度
特許取得数（出願中含む）	0 件

### 5 医学研究費取得状況

	平成 12 年度
(1) 文部省科学研究費	0 件 ( 万円)
(2) 厚生省科学研究費	0 件 ( 万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0 件 ( 万円)
(4) 財団助成金	0 件 ( 万円)
(5) 受託研究または共同研究	0 件 ( 万円)
(6) 奨学寄附金その他（民間より）	0 件 ( 万円)

### 6 特定研究などの大型プロジェクトの代表，総括

## 7 学会活動

	平成 12 年度
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件
(2) 国際・国内シンポジウム発表数	0 件
(3) 学会座長回数	0 件
(4) 学会開催回数	0 件
(5) 学会役員等回数	0 件

## 8 学術雑誌の編集への貢献

	平成 12 年度
学術雑誌編集数	0 件

## 9 共同研究の実施状況

	平成 12 年度
(1) 国際共同研究	0 件
(2) 国内共同研究	0 件
(3) 学内共同研究	0 件

## 10 産学共同研究

	平成 12 年度
産学共同研究	0 件

## 11 受賞（学会賞等）

## 12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

## 13 この期間中の特筆すべき業績，新技術の開発

## 14 研究の独創性，国際性，継続性，応用性

## 15 新聞，雑誌等による報道